

新疆における民族問題の 歴史と現状

講師／ 楊 聖敏 氏

（ICCS 訪問教授、中国中央民族大学民族学与社会学学院・院長、
中国当代民族問題戦略研究拠点主任）

【講演概要】

本講演では、中国の新疆の民族問題の歴史背景および当面ウイグル族と漢民族の関係に関する調査と分析を紹介した上で、今後の新疆の民族関係とその解決策についての予測と討議を行う。

【講師略歴】

楊聖敏、1951年生まれ。中央民族大学民族学与社会学学院長・教授、法学博士。中国当代民族問題戦略研究拠点主任。中国民族学会副会長、中国世界民族学会会長・教育部社会科学委員会委員、国務院学位委員会第五回学科組成員などを務める。北京大学・南開大学・蘭州大学・南京大学・西北大学・アモイ大学など客員教授。1990年に Simon Fraser University Canada、1995年 Leland Stanford Junior America などにて研究。主要著作『新疆現代政治社会史略』（中国社会科学出版社 1992年）“The Population Of Chinese Muslim Minorities, Population Studies of the Muslim World” Cairo, 1993年などがある。

2010年12月18日(土) 14:00～17:00
愛知大学名古屋校舎研究館2階第1会議室

* 一般公開 * 参加無料 * 申込不要
* 中国語講演（日本語通訳有）

【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室
〒470-0296 愛知県みよし市黒笹町清水 370
TEL : 0561-36-5637 FAX : 0561-36-5422
URL : <http://iccs.aichi-u.ac.jp/>
E-MAIL : coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp